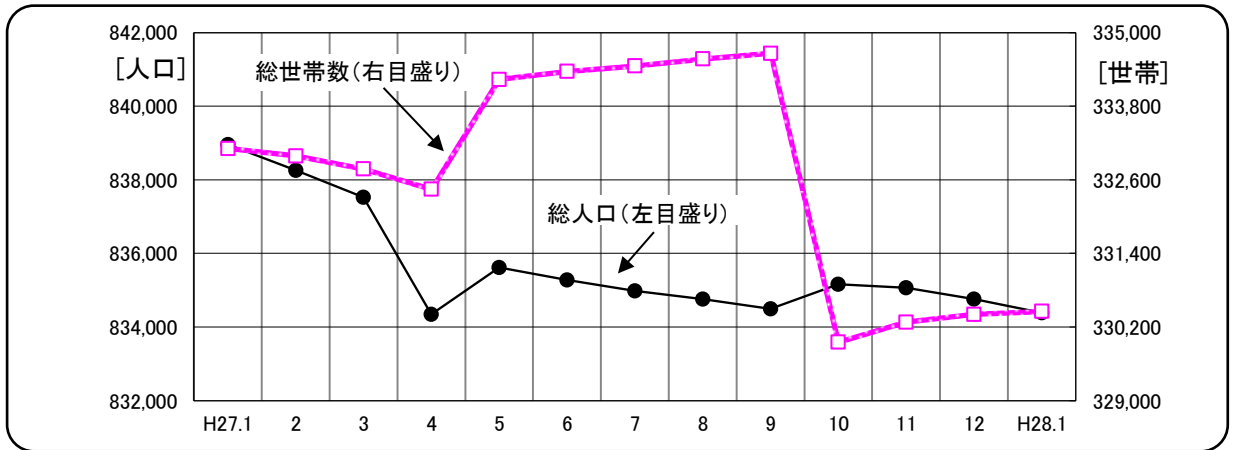


1 推計人口

総人口は前年同月に比5,669人(0.68%)減少(自然減3,535人、社会減2,134人)。対前年同月人口増減数の上位市町村は、<増加> 昭和町654人、甲斐市620人、中央市436人等。<減少> 甲府市913人、都留市877人、北杜市755人等。世帯数は前年同月に比べ2,158世帯(0.66%)増加。1世帯当たりの世帯人員は、2.52人。
 ※平成27年国勢調査速報「山梨県地方集計値」公表に伴う基準(平成27年10月1日現在人口及び世帯数)変更

月	総人口(人)	総世帯数
H27.1	838,958	333,111
2	838,260	332,990
3	837,527	332,778
4	834,346	332,448
5	835,618	334,237
6	835,274	334,369
7	834,985	334,456
8	834,756	334,572
9	834,496	334,665
10	835,165	329,953
11	835,063	330,282
12	834,764	330,407
H28.1	834,389	330,456

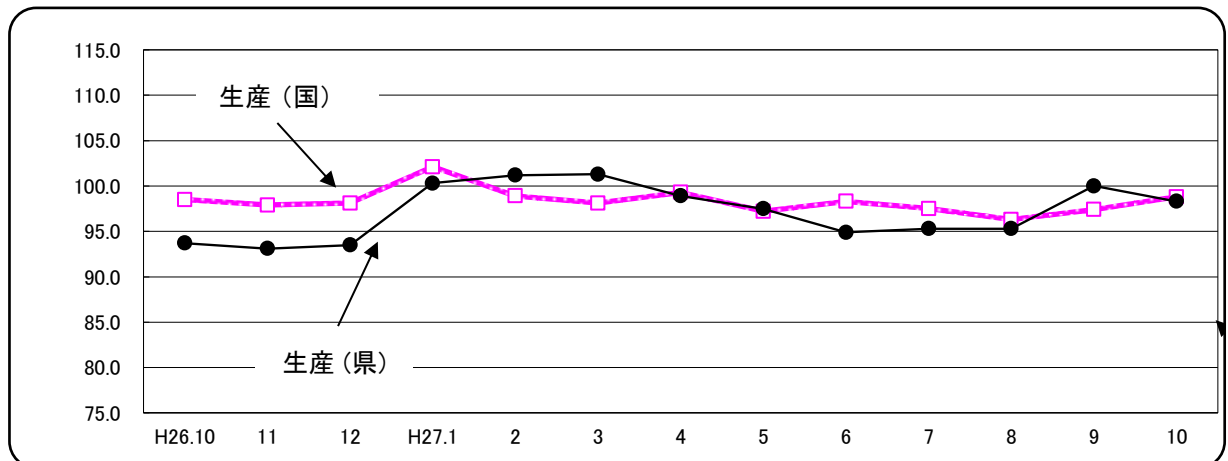


2 鉱工業指数

(平成22年基準)

前月比(季節調整済指数)でみると、生産は、はん用・生産用・業務用機械工業、食料品工業等の低下により98.3となり1.7%低下、出荷は、情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業等の上昇により97.3となり0.2%上昇、在庫は、はん用・生産用・業務用機械工業、繊維工業等の上昇により72.1となり0.4%上昇した。前年同月比(原指数)でみると、生産は4.3%、出荷は4.9%それぞれ上昇、在庫は3.6%低下した。

月	生産(県)	生産(国)
H26.10	93.7	98.5
11	93.1	97.9
12	93.5	98.1
H27.1	100.3	102.1
2	101.2	98.9
3	101.3	98.1
4	98.9	99.3
5	97.5	97.2
6	94.9	98.3
7	95.3	97.5
8	95.3	96.3
9	100.0	97.4
10	98.3	98.8



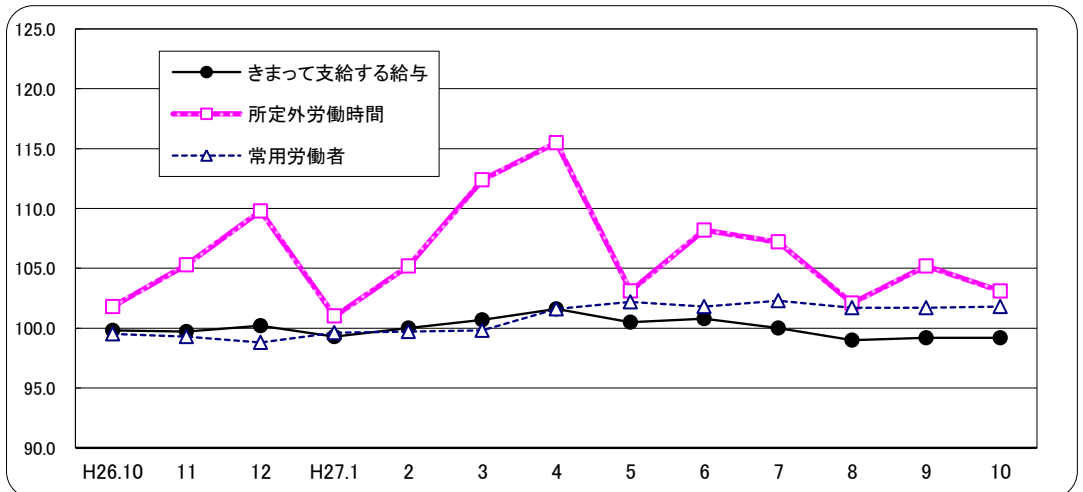
3 賃金・労働時間及び雇用の動き

(事業所規模 5人以上)

前年同月比でみると、現金給与総額(名目)は、0.9%減の236,955円で4か月連続の減少。きまって支給する給与は、0.6%減の236,571円で8か月連続の減少。所定外労働時間は、1.3%増の10.0時間で2か月連続の増加。常用労働者数は、2.3%増の273,990人で10か月連続の増加。

(平成22年=100)

月	きまって支給する給与・名目	所定外労働時間	常用労働者
H26.10	99.8	101.8	99.5
11	99.7	105.3	99.3
12	100.2	109.8	98.8
H27.1	99.3	101.0	99.6
2	100.0	105.2	99.7
3	100.7	112.4	99.8
4	101.6	115.5	101.6
5	100.5	103.1	102.2
6	100.8	108.2	101.8
7	100.0	107.2	102.3
8	99.0	102.1	101.7
9	99.2	105.2	101.7
10	99.2	103.1	101.8



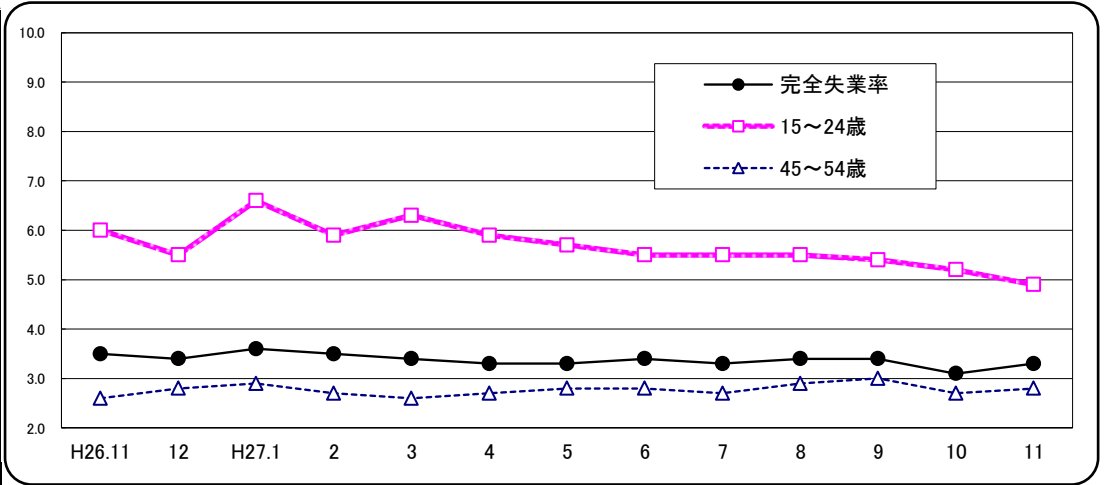
4 労働力調査

(全国約10万人調査 総務省調べ)

全国の就業者数は6,379万人。前年同月に比べ8万人の増加。就業者のうち、雇用者数は5,676万人で、前年同月に比べ39万人の増加。完全失業者数は209万人で、前年同月に比べ10万人の減少。完全失業率(季節調整値)は3.3%。

(全国) (単位:%)

月	完全失業率 (季節調整値)	15~24歳 (原数値)	45~54歳 (原数値)
H26.11	3.5	6.0	2.6
12	3.4	5.5	2.8
H27.1	3.6	6.6	2.9
2	3.5	5.9	2.7
3	3.4	6.3	2.6
4	3.3	5.9	2.7
5	3.3	5.7	2.8
6	3.4	5.5	2.8
7	3.3	5.5	2.7
8	3.4	5.5	2.9
9	3.4	5.4	3.0
10	3.1	5.2	2.7
11	3.3	4.9	2.8



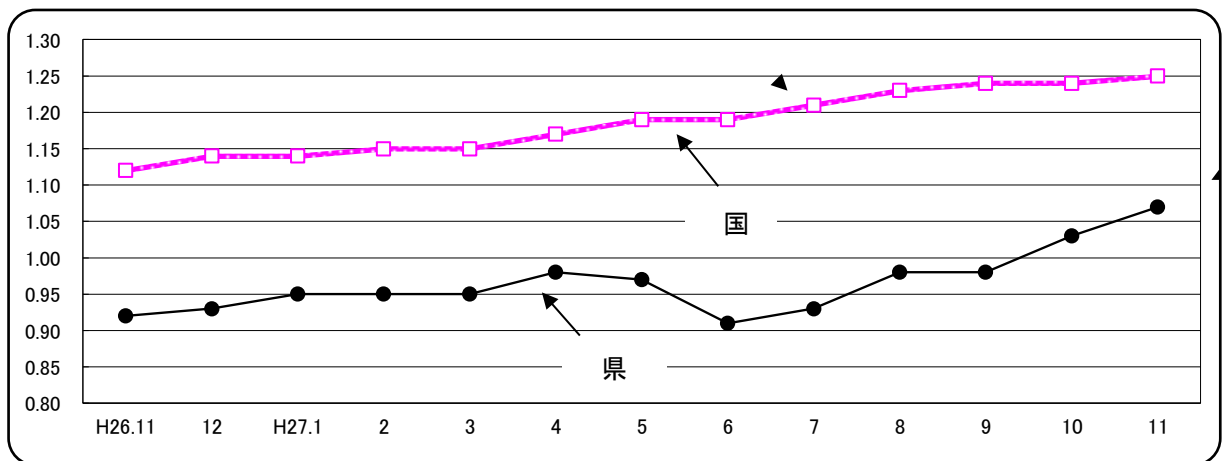
5 有効求人倍率

(山梨労働局調べ)

有効求人倍率(季節調整値)は、前月比0.04ポイント上昇の1.07倍。月間有効求人・求職者数(季節調整値)を前月との比較で見ると、有効求人数(同値)は2.2%(312人)増の14,203人。有効求職者数は1.7%(228人)減の13,229人。

(季節調整値)

月	県	全国
H26.11	0.92	1.12
12	0.93	1.14
H27.1	0.95	1.14
2	0.95	1.15
3	0.95	1.15
4	0.98	1.17
5	0.97	1.19
6	0.91	1.19
7	0.93	1.21
8	0.98	1.23
9	0.98	1.24
10	1.03	1.24
11	1.07	1.25



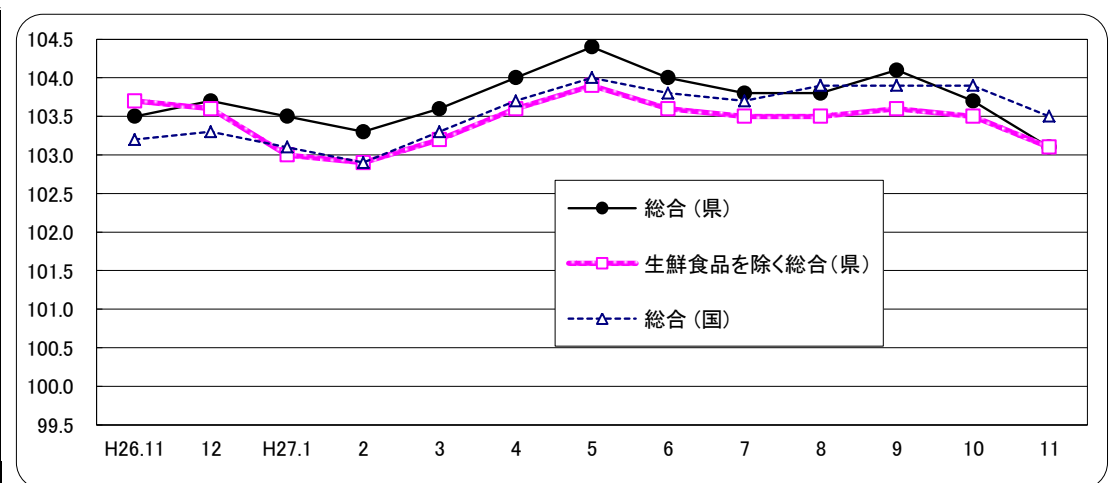
6 消費者物価指数

(甲府市 約280店舗調査)

総合指数は、平成22年を100として103.1で、「果物」、「家事用消耗品」などが上昇、「野菜・海藻」、「寝具類」等が下落し、前月比0.6%の下落となった。また、前年同月比では、「教養娯楽用耐久財」、「野菜・海藻」などが上昇、「他の光熱」、「電気代」等が下落し、0.4%の下落となった。

(平成22年=100)

月	総合(県)	生鮮食品を除く 総合(県)	総合(国)
H26.11	103.5	103.7	103.2
12	103.7	103.6	103.3
H27.1	103.5	103.0	103.1
2	103.3	102.9	102.9
3	103.6	103.2	103.3
4	104.0	103.6	103.7
5	104.4	103.9	104.0
6	104.0	103.6	103.8
7	103.8	103.5	103.7
8	103.8	103.5	103.9
9	104.1	103.6	103.9
10	103.7	103.5	103.9
11	103.1	103.1	103.5



7 山梨中央銀行1月の調査月報

最近の県内景気(11月~12月)は、横ばい圏内の動きとなっている。需要面においては、設備投資で慎重姿勢が窺われるほか、個人消費も盛り上がりを欠く状況となっている。一方、生産面においては、機械工業で持ち直しの兆しがみられる。